

第1章 はじめに（計画策定の趣旨）

第1章をわたしたちがガイドします

計画策定から4年経っても・・・みんなのおせっかいは続いています！

若ごぼうさん



祖父のひとり暮らしを契機に、福祉活動にいそしむ32歳。週末ボランティアを開始。

えだまめさん



八尾市に住んで50年あまり。長年、地域の福祉活動にかかわり知る人ぞ知るベテラン！

紅たでさん



八尾市地域共生推進課職員。地域福祉の推進に日々、市役所庁内・庁外をコーディネート。

教授



地域福祉のスペシャリスト。八尾市の地域福祉の推進に貢献。

改定版から加わった新たな仲間たち

つなげーる



八尾市地域共生推進課つなげる支援室専属コンシェルジュ。地域共生社会の実現に向けて日々情熱を燃やす。

ヤッピー



八尾市社会福祉協議会（社協）から飛んできたヤッピー。可愛いだけではなく、市と社協の連携に日々飛び回っている。

1) 計画策定の背景

若ごぼうさんが福祉のボランティア活動を始めました。

若ごぼうさん



4年前からひとり暮らしをはじめたおじいちゃんを助けるなかで、支えが必要な人たちがたくさんいると気づきました。

紅たでさん



八尾市では、地域住民の方をはじめ、民生委員・児童委員の方や地区福祉委員会、校区まちづくり協議会、自治会、各種ボランティア団体など、さまざまな人たちの参加による地域福祉活動が活発に行われています。若ごぼうさんも、ボランティアに目覚めましたか!?



えだまめさん

八尾市では、ひとり暮らしの人が集まって、地域で食事会や安否確認をしているわ。



ヤッピー

地区福祉委員会や校区まちづくり協議会が実施しているふれあい喫茶型サロンは、人とのつながりが生まれることを目的とした交流の場で、地域の人なら誰でも参加できますよ。



若ごぼうさん



おかげさまで、おじいちゃん元気なままで、楽しみが増えたと喜んでます。僕も地域福祉のボランティアを楽しんでいます。



つなげる

令和5年度（2023年度）から八尾市では重層的支援体制整備事業をはじめますが、その中でも「地域福祉」は非常に重要ですよね。



紅たでさん

「地域福祉」は、地域で困っている人や課題を抱えている人が法律等による福祉サービスだけでなく、地域の人同士がお互いに助けたり、助けてもらったりする地域の福祉活動ですね。



教授

固い言葉でいうなら、地域において誰もが安心して暮らせるよう、地域住民や公私の社会福祉関係者がお互いに協力して地域社会の福祉課題の解決に取り組む考え方をいいます。



ヤッピー

地域の生活課題の解決に向けて、地域福祉計画や社協が作成する地域福祉活動計画を基に、地域福祉の取組みが広がって、みんなが幸せな生活を送れるといいですね。



教授

近年は、高齢化の進行や核家族化、近所づきあいの希薄化など、さまざまな理由を背景に、地域活動が低下している状況です。
この地域の助け合いは、これからもっと重要性が増していくので、この活動を推進していくために行政は「地域福祉計画」を作成して、市民や社協、企業等多くの人達と一っしょに取り組んでいくことが重要なんです。

若ごぼうさん

地域の助け合いって難しそうですね。
実際に活動している中でも、困っていても、かまってほしくない人もおられます。



教授

そのとおり。助けてほしい人もいれば、かまってほしくない人もいます。ただ、助けてほしいのに声も出せず苦しんでいる人がいるのは切実な問題……。そういう人を地域で見つけて、必要な支援やサービスにつなげることで、生活が楽になる人、毎日が楽しくなる人もいっぱいいるわけです。
ある意味、地域福祉は地域の「おせっかい」を強くするものですね。



えだまめさん

インターネットがなかった時代は、情報は周りの人達に教えてもらっていたし、困ったときはよく周りの人に助けてもらえたわ。
昔より便利になったけど、先生のいう「おせっかい」はいつの時代も大事。「活動に興味はあるけど、参加の仕方がわからない」って人は、講座などに参加してみれば……。

つなげる



まさしく、八尾市では「おせっかい人材」を見つけて育てる取組みを進めているところです。「デジタルサポーター養成講座」では、スマートフォンに興味がある人を対象に、地域で教え合える人材養成をしています。

若ごぼうさん



デジサポには僕もボランティアでかかわっています。教わる側から、そこで得たスキルを地域活動に活かして伝える側（担い手）になるよい取組みですよ。ところで、小学校のとき、悪いことをしたら近所のおじさんに怒られたことがあったという話も・・・。

教授



ある意味、それも地域福祉。昔は地域のつながりも強かったし、地域でこどもを育てるという意識も強かった。こども基本法ができて、今また、社会や地域ぐるみでこどもを育てることが、重要視されています。

えだまめさん



うちの夫は退職後に、近隣の子どもたちの登下校の見守りを始めました。地域活動へのデビューのきっかけにもなったし、こどもから元気をもらうよう生き生きと楽しくやっているわ。

【登校時の声かけ運動】



若ごぼうさん



八尾市では登下校の見守り活動が活発なんですよ！
でも大変な活動ですよ。



教授

大変だし、こういう地域活動をしている人の高齢化も進み、活動している人をバックアップすることも大事。学校など関係機関との連携も必要。こうした助け合い活動は一步一步進めることが大事です。それを進めるために、行政は市民の声を聞きながら「地域福祉計画」を作成し、目標を持って市民とともに福祉の推進に取り組んでいるわけです。



ヤッピー

社協は「地域福祉活動計画」を作って、八尾市の「地域福祉計画」と同じ方向性で、地域のみなさんと活動しています。



紅たでさん

八尾市では、平成15年（2003年）5月に最初の「八尾市地域福祉計画」を策定して、社協の活動計画と連携して取組みを進めてきました。

今は、令和2年度（2020年度）に策定した第4次計画の中間見直しのため、こうして話し合っています。この計画について、話し合う機会も増えるので、いろいろご意見きかせてくださいね！

若ごぼうさん

僕も、参加します!!



つなげる

いろんな人たちがつながって、よりよい計画にしていきましょう。

4年前の計画策定時から着実に地域福祉の輪が広がっています。

2) 策定にあたって（たくさんの声を反映）

つなげる、ヤッピーが新たに加わり、
地域福祉計画を話し合う場はパワーアップしています。



教授

今回の地域福祉計画改定版の策定にあたっては、どういうところを重視したのですか？



紅たでさん

できるだけたくさんの方の意見を反映するために

- ① 住民・福祉関係者・相談機関を対象に令和6年（2024年）7月にアンケート
- ② 社協とともに地区ワークショップや地域の福祉関係者へのヒアリング調査
- ③ 市役所内で相談対応を行っている各課が集まるワーキング会議で意見交換を実施



紅たでさん

あと、先生や関係機関、市民で構成する「八尾市社会福祉審議会（地域福祉専門分科会）」でご意見をいただき、できた計画案を公表して市民などからご意見をいただくパブリックコメントを実施しました。

若ごぼうさん

今回は、どんなアンケート結果だったのですか？



紅たでさん

いろいろありましたが、先程先生から近所づきあいが希薄になっているとご指摘がありましたが、八尾市でもその状況にあります。いわゆる近所づきあいの深い人は4年前の調査から6.4ポイント低くなっていました。

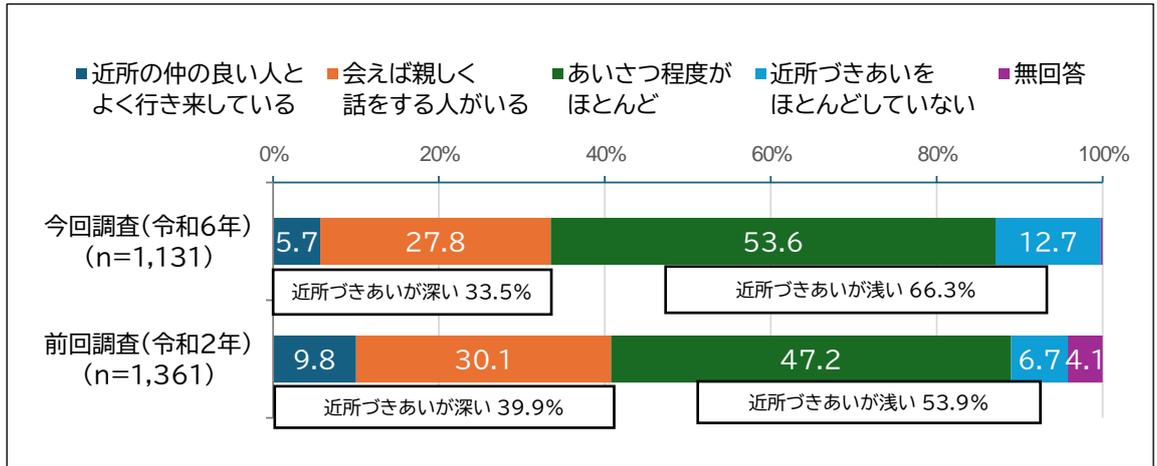


紅たでさん

次のグラフは近所づきあいのアンケート結果です。



紅たでさん



紅たでさん

特に 30 歳代以下の人は地域活動への参加経験も低くなっています。

若ごぼうさん

僕のような年代が少ないということですね・・・



紅たでさん

今回調査では、地域活動に「参加したいと思わない」人が、各年代層で4割以上となっていました。参加意欲の醸成が課題となりますね。今後は、活動に興味や関心を持ってもらえるような、仕掛けづくり、例えば活動の魅力発信などが必要になります。

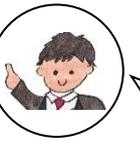


教授

そういう地域の課題について、行政はどうしたらよいのかと考えるだけでなく、みんなで一緒に考えていくことがこの地域福祉計画では大事なことです。

若ごぼうさん

他にはどういう課題があったのですか？



つなげる

コロナ禍を経て、近所づきあいの機会は減少している一方で、地域の関わり・つながりを重要だと思うようになった市民が、2割います。また、地域活動に関する担い手や後継者の不足は、大きな問題となっています。



えだまめさん

担い手不足という声が、自治会をはじめ、あちこちで聞かれるけど、地域によっては、住民の声を発端に、学校を会場に朝ごはんを提供することの居場所ができたという例もあるみたい。



ヤッピー

こどものための地域活動を大人がサポートすることで、多世代交流的に盛り上がっているようです。
こうした地域活動の実践例が、他の地域にも広がっていくように必要な支援を行い、地域活動の「見える化」に取り組んでいくことが重要です。



紅たでさん

コロナ禍によって、リモートワークやキャッシュレス決済が広がったりと、非接触型の行動が新しい生活スタイルとして定着しています。
そのような中でも、「実際に参加すると楽しいよ」、といった人々が集い、触れ合う機会や場も、もちろん大事ですね。

若ごぼうさん

多様なスタイルでの実践が期待されますね!!



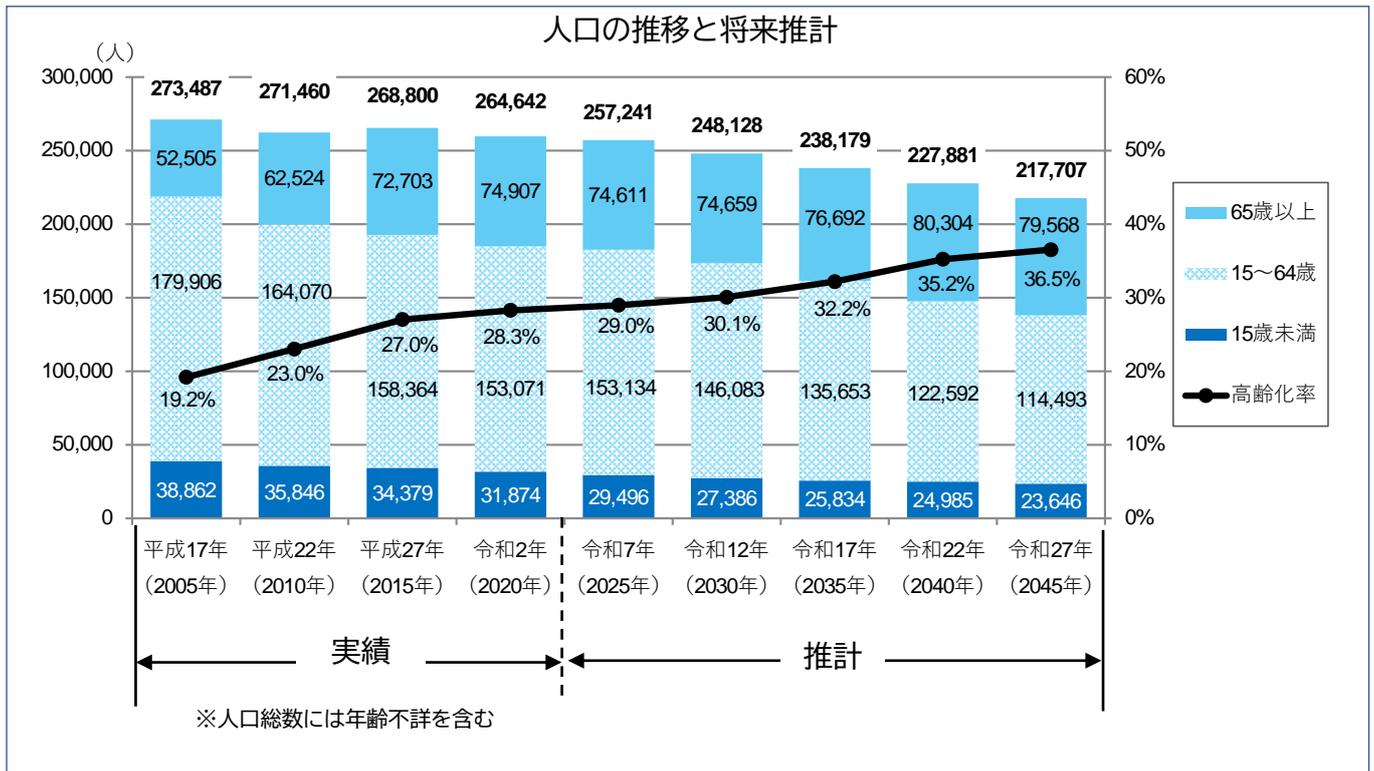
ヤッピー

おひとり暮らしの方もどんどん増えています。地域活動も世代を超えていろいろな人が参加するようになるといいですね。



紅たでさん

次のグラフは八尾市の人口の推移と将来推計です。
65歳以上の高齢の方が多くなっています。



ヤッピー

今のままでは、人口減少は避けられないですね・・・



教授

人口減少や少子高齢化は八尾市だけでなく、全国的な状況です。社会保障も今後どうなるかわからない中、行政による支援だけでは市民生活を守ることは難しくなっています。行政には、もちろんがんばってもらいますが、自分でできることは自分で行う、地域でできることは地域ですといった、まさしく地域福祉の取組みを進めることが安心して暮らせる八尾市につながるのです。

若ごぼうさん



僕も、できることからやってみようと思い、ボランティア活動など地域のためにできることに取り組んでいます。

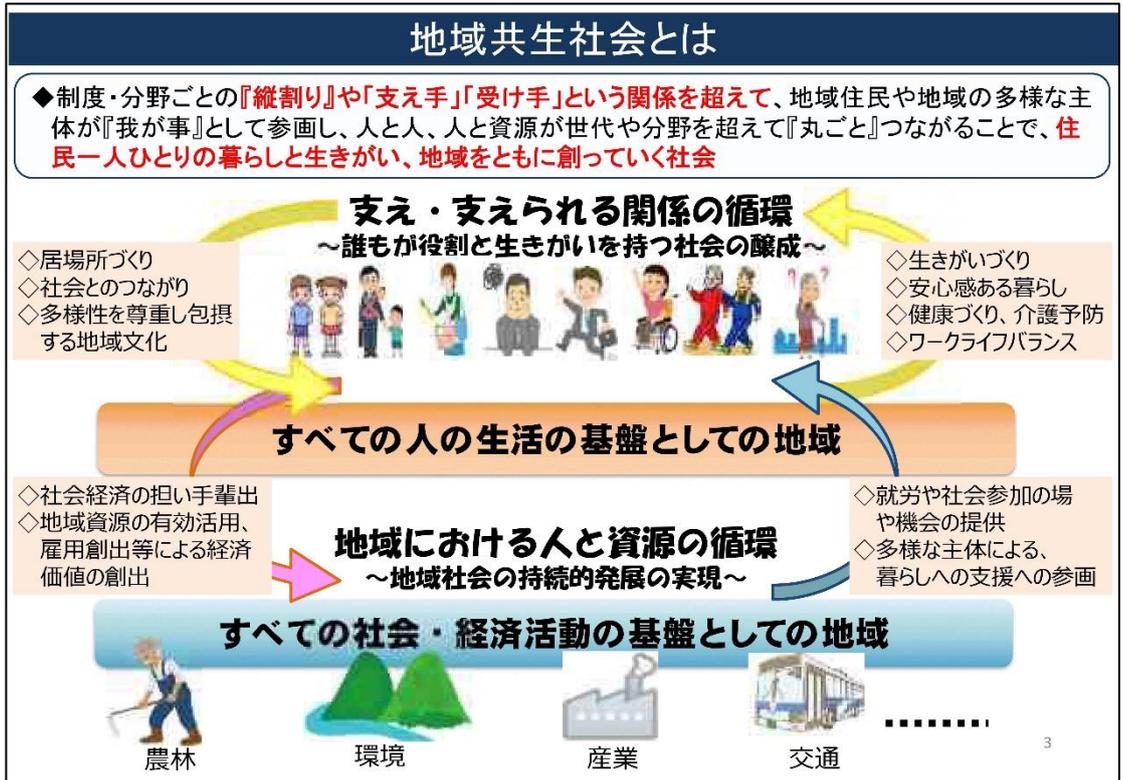


教授

これからも、がんばってください。社会構造や人々の暮らしが日々変化する中で、高齢期になっても、支援を必要とする状態になっても、誰もが「支え手」「受け手」といった関係を超えて、お互いさま、一緒に住みよいまちをつくっていく「地域共生社会」をつくっていくことが大事なのです。次の図は厚生労働省が示した「地域共生社会」の実現に向けたイメージです。



教授



つなげる

地域福祉計画や地域福祉活動計画では「地域共生社会」の実現に向けて、地域住民や福祉関係者など、さまざまな人たちとの連携・つながりを強化しながら、住みよいまちづくりに取り組んでいます。



つなげる

八尾市では、これまで重層的支援体制のしくみづくりを進めてきましたが、今回この計画の中で、取組内容を整理しました。

若ごぼうさん



さまざまな取組みを一体的に進める訳ですね。



教授

この計画の取組みや地域で取組まれている福祉活動を広く普及していただきながら、よりよい地域福祉活動の展開、住みよいまちづくりに取り組んでいただければと思います。みなさんにも、地域の福祉活動に興味と関心を持っていただき、楽しく福祉活動に携わっていただけるといいですね。



えだまめさん

日常生活の中の困りごとは、「おせっかい」が解決の素。
大人から子どもまで、おせっかいの輪が広がっていくと、地
域福祉に関する問題解決力を高めていけると思うわ。



紅たでさん

八尾のまちは、「あの人ほっとかれへんわ」と思ってしまう、
「おせっかい人材」に支えられています。



つなげる

おせっかい人材や福祉のプロの発掘や育成を行う福祉人材
養成事業を進めています。

若ごぼうさん



僕も、そういう気質です(笑)



ヤッピー

「地域共生社会」の中で、地域の人たちがお互いのことを
気にかけて、助け合い、支え合って、住みよいまちになれば、
みんな安心して暮らせますね。

いろいろな地域の生活課題に関わる人が増えていくように、
よい計画づくりを進めていこうと、みんなの想いが重なりました。



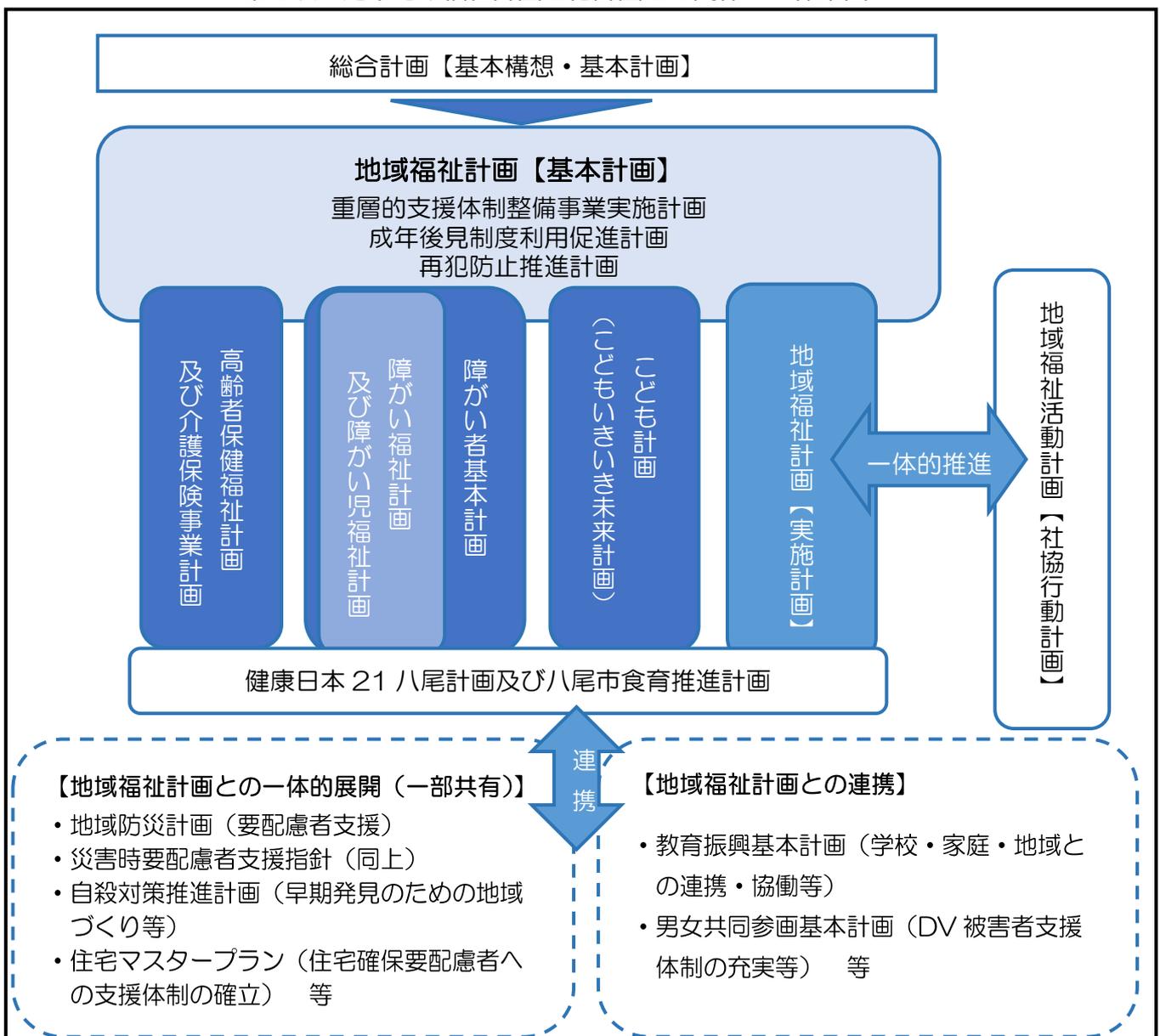
3) 計画の位置づけ



紅たでさん

- この計画は、社会福祉法（昭和 26 年（1951 年）法律第 45 号）第 107 条の規定による市町村地域福祉計画です。
- 地域共生社会の実現に向けた平成 30 年（2018 年）4 月施行及び令和 3 年（2021 年）4 月施行の社会福祉法の一部改正の趣旨を踏まえています。
- 総合計画の内容を踏まえて策定しています。
- 市の福祉計画の方向性を決めています。
- 地域において福祉の各分野が共通して取組むべき事項などを記載しています。
- 福祉以外の計画との一体的展開や連携の方針を定めます。
- 「重層的支援体制整備事業実施計画」、「成年後見制度利用促進計画」、「再犯防止推進計画」を包含し、生活困窮に関する取組み等も盛り込んでいます。
- 社会福祉協議会（以下「社協」という。）の「地域福祉活動計画」と一体的に地域福祉を推進するものです。

第 4 次八尾市地域福祉計画と他計画との関係 <体系図>



4) 計画の期間



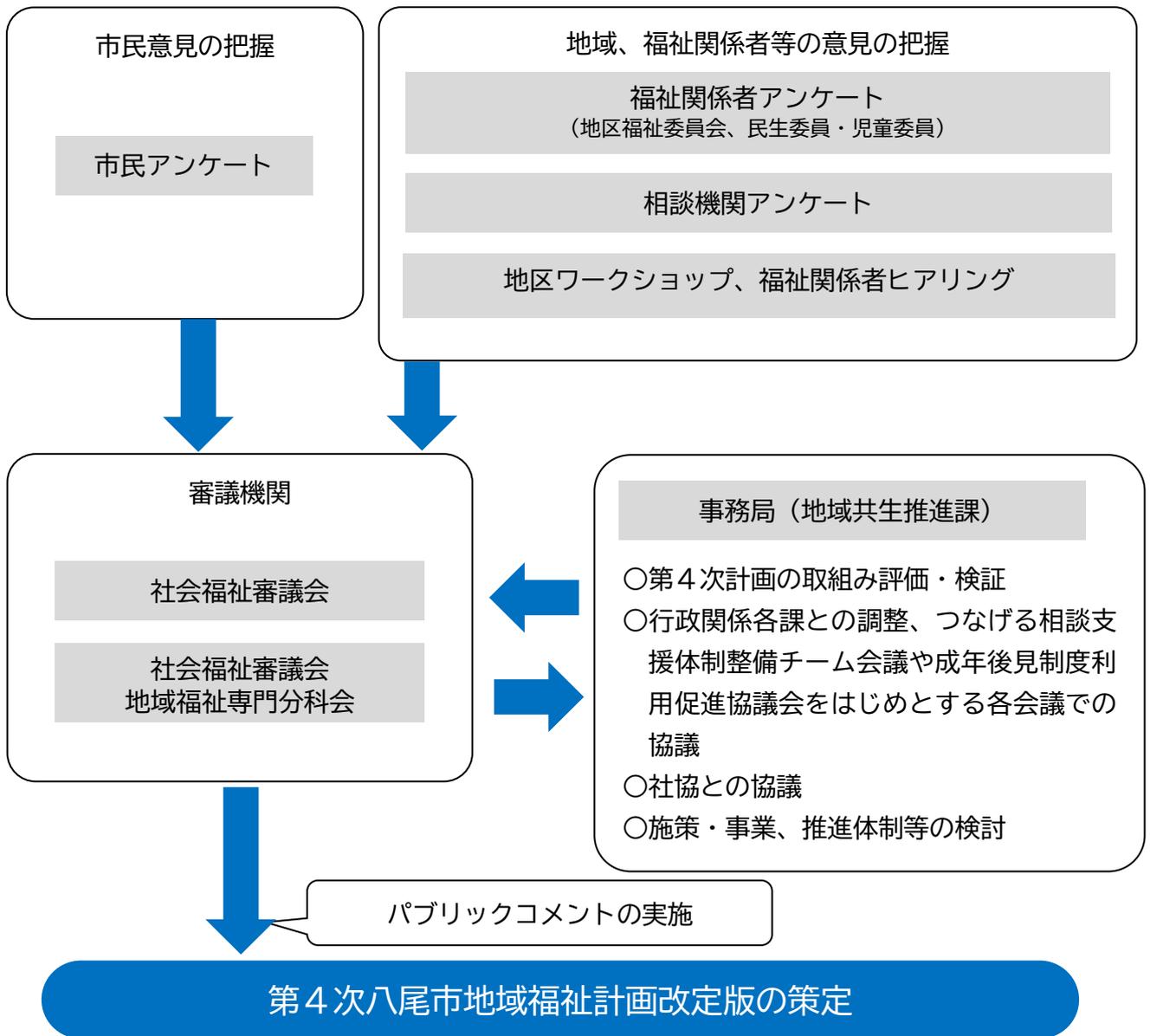
紅たでさん

この計画は、令和3年度（2021年度）から令和10年度（2028年度）までが計画期間で、中間年の令和6年度（2024年度）に、見直しを行うため、計画の推進状況、社会情勢やニーズ、各種法制度等の変化を踏まえ、総合的に評価を行い、改定版を策定しました。

また、見直しを行うにあたり、令和5年度（2023年度）から実施している重層的支援体制整備事業（以下「重層事業」という。）について、地域共生社会の実現に向けて本計画と一体的に取組みを推進するため、同年度3月策定の「八尾市重層的支援体制整備事業実施計画」を包含するかたちで策定しました。

	令和 3年度 (2021年度)	令和 4年度 (2022年度)	令和 5年度 (2023年度)	令和 6年度 (2024年度)	令和 7年度 (2025年度)	令和 8年度 (2026年度)	令和 9年度 (2027年度)	令和 10年度 (2028年度)
第6次 総合計画	基本構想							
	前期基本計画				後期基本計画			
地域福祉計画	第4次 (中間年に評価、見直し)							
社会福祉協議会 地域福祉活動計画	第4次 (中間年に評価、見直し)							
高齢者 保健福祉計画及び 介護保険事業計画	第8期			第9期			第10期	
障がい者基本計画	第4期 前期計画				第4期 後期計画			
障がい福祉計画	第6期			第7期			第8期	
障がい児福祉計画	第2期			第3期			第4期	
こども計画 (こどもいきいき未来計画)	こどもいきいき未来計画 後期計画				こども計画			

5) 策定の流れ



若ごぼうさん

これまでの取組みの評価・検証を行いながら、第4次計画策定時と同じく、いろんな人の意見を反映してできているんだなあ。

